

## 【演題名】

金沢市立病院におけるレカネマブ導入症例の治療経過に関する実態調査

金沢市立病院 薬剤室 稲口 舞子

## 【要約】

レカネマブは 2023 年 12 月に薬価収載された早期アルツハイマー病治療薬で、金沢市立病院では 2024 年 2 月から 9 月までに 10 名の患者へ導入した。投与開始より 1 年以上経過したことから、患者背景や一定期間投与後の治療効果、投与中止例を調査し、治療継続のための課題について検討を行った。初回投与で中止となった 1 例を除き、全症例に 2 週毎の継続した投与が行われた。副作用の発現は 3 例あったが、いずれも軽度で副作用が要因となった投与中止例はなかった。Infusion reaction が発現した症例は 2 回目投与時に予防的投与を行うことで治療の継続が可能となった。MMSE スコアは導入前が平均 25 点(22-28 点)、投与半年後が平均 23 点(17-29 点)で、6 例で 22 点以上が保たれた。薬剤師が調剤や薬剤管理の過程において副作用予防策の提案や治療経過の把握をすることで、治療の安全性や継続性に寄与できると考えられる。

(399 字)